

2021年4月19日

沖縄セルラー電話株式会社

アクセスナビゲーションシステムを開発、琉球ゴールデンキングスホーム試合開催日にトライアル提供

～臨時シャトルバスの運行情報や駐車場情報を一元管理・可視化～

沖縄セルラー電話株式会社（本社：沖縄県那覇市、代表取締役社長：湯浅英雄、以下沖縄セルラー）は、KDDI株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋誠）が運営するKDDI DIGITAL GATE 沖縄と共同で、アクセスナビゲーションシステム（以下、本システム）を開発し、沖縄アリーナで順次開催される琉球ゴールデンキングス B リーグ 2020-21 シーズンホーム試合開催日にトライアル提供します。

本システムは、各種イベント時に運行される臨時シャトルバスの運行情報（位置情報）やイベント会場周辺の駐車場情報を一元的に管理・可視化することで、イベント来場者の会場までの移動体験を最適化します。また、本システムはイベント当日に簡易的な機器をバス車内等に設置するのみで運用可能なため、イベント主催者やシャトルバス管理者にとって事前の設置工事等の負荷が小さく容易に導入が可能な仕組みを採用しました。

ACCESS NAVIGATION SYSTEM

アクセスナビゲーションシステム

来場者にも主催者にも最適な情報の提供

シャトルバス運行状況の可視化

「シャトルバスがいつ来るかわからない」「ちゃんと来るのかな」等のマイナスイメージを取り除くことで、来場者のシャトルバス利用を促進します。



カスタマイズされたマップを表示

会場やシャトルバス周辺の駐車場、飲食店、ランドマークなど、目的に応じてマップ表示をカスタマイズすることが可能です。



デジタル化が進んでいないバスや駐車場でも導入可能

センサーを設置するだけでOK

シャトルバス側のセンサー機器は、電源工事等特別な工事は不要で、バスに置くだけで導入完了です。運営時の作業は機器の充電のみです。



様々なタイプの駐車場で導入可能

デジタル化されていない有人管理の駐車場や臨時駐車場など、様々なタイプの駐車場の満空情報データを取得可能です。（写真は一例です）





<画面イメージ>



<利用イメージ>



<センサー機器 バス内設置イメージ>

<琉球ゴールデンキングス向けのアクセス情報 Web サイト>

<https://kdg-arena-portal-prd.web.app>

今後も、沖縄セルラーおよび KDDI DIGITAL GATE 沖縄では、沖縄県内の地域創生をはじめ、県内産業全体の生産性及び競争力の向上を目指し、様々な領域でのデジタルトランスフォーメーションを推進していきます。

(参考)

■ 「KDDI DIGITAL GATE 沖縄」 (<https://biz.kddi.com/digitalgate/>) について

「KDDI DIGITAL GATE」は、デザイン思考をベースとしたワークショップやアジャイル開発チームによるプロトタイピングを通じて、お客さまの潜在的な課題を発見するとともに、最先端のテクノロジーを用いて、それら課題を解決するソリューションを設計し、構築・検証を素早く実行することでお客さまをサポートしています。

また、オープンイノベーション拠点として、スタートアップの斬新なアイデアや5Gを始めとした先進テクノロジー、KDDI グループによる技術的なサポートを提供することで、次世代技術を活用したビジネス共創を推進しています。

2019年9月に開設した「KDDI DIGITAL GATE 沖縄（沖縄・那覇）」では、開設以来、沖縄県内企業の課題解決や新規ビジネスの創出をサポートしています。

本件に関するお問い合わせ

沖縄セルラー電話株式会社 総務部 広報担当：大城 TEL098-953-3153